

JLU第13期 2021年末闘争スタート 年末要求アンケートにご協力を



アンケート
QRコード

WING

日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 506 (13-01)
2021年 09月 13日

Tel: 03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

9月9日、日本航空ユニオンは定期組合大会を開催し、第13期がスタートしました。そして2021年末闘争はすぐ始まります。コロナ禍で労働者にとって厳しい状況ですが、こういう時だからこそ労組の出番です。良い要求を作って会社に届けましょう。WEBでも実施中！【裏面は年末アンケートとなっています】

年末のスケジュールと取り組み

9月10日
アンケート開始

10月3日
アンケート締切り

10月5日
年末要求(案)作成

10月13日
中央委員会
要求決定・提出

11月01日
回答指定日

11.19
航空の山場

幅広く 声を集めます

「JAL グループ全社員アンケート」でなるべく多くの声を集めて要求作りに役立てます。一時金は昨年の夏以降下がりが続いています。会社が出せそうな額を要求するのではなく、今の生活に必要な一時金を要求するのがJLUのスタンスです。この一年半でどれだけ苦しくなっているか、家庭の状況を確認し、自由コメント欄に記入をお願いします。リアルな声が会社を動かす力になります。

集めた声を会社へ

年末交渉は対面での開催を求めています。どんな開催方式でもしっかり職場の想いを伝えます。10月3週目から1か月間が交渉期間となります。訴えたいことがありましたら、JLUの組合役員にお伝えください。毎日の出面が足りなく、疲弊している職場もありますが執行委員を交渉に送り出すことで職場改善につながります。ご協力をお願いします！

あと一年半は耐えられる財務状況

新型コロナの影響が長期化しているため、JAL では再度大型の資金調達を実施します。8月に JALEC の田村社長が「この状況が続いてもあと1年半は耐えられる」と述べていました。昨年の春にも上の人から同じことを聞いたことを覚えている方もいると思います。

前年度から財務状況を維持するため、JAL でも前広に資金調達を行っています。毎月の黒字化が予想より遅れそうだから早めに手を打っておきたいでしょう。それで調達した資金によって「燃費のいいA350を予定通り導入」「コロナ後の観光需要を見据えてLCCに投資」ができるわけです。確かに「成長への投資」は大事ですが、その前に社員をもっと大事にしていることを示してほしいものです。「安心して働いてください」と言われても、一時金が続けると将来が不安です。年末交渉では、本当に安心して生活し、働ける一時金を支給するよう訴えていきます。

劣後ローン

普通社債

コミットメントライン



JLUへの回答はみんなのもの

JLU では職場で出された問題を集約して、整備本部との交渉で確認し、追及しています。そこで引き出した答えを皆さんにお知らせするため、このビラに載せています。最近では以下のとおり主張し、会社も否定はしていません。

- ・家でiPadに繋いでまで飲酒検査をしない
- ・ワクチン接種後、無理して働くことはない

整備本部の回答はJLUに対してのみ有効ではなく、一緒に働くみんなのものです。何か問題があったらJLU組合員に相談してください。